人気温泉旅館ホテル250選限定企画

この特集は観光経済ドットコム（http：//www.kankokeizai.com）でもご覧いただけます

順不同　8・9・12・13面も特集

温泉、料理、施設、サービス…個性が光る“こだわりの宿”

繁盛旅館には必ずこだわりがある。温泉、料理、施設、サービスなどのほか、バリアフリー対応を進めたり、女性客に優しい配慮をしている旅館も増えてきた。宿泊業界全体が厳しい経営環境の中、これらの旅館は顧客から多くの支持を集めている。観光経済新聞社主催、観光関係９団体後援の「2008年度人気温泉旅館ホテル250選」（旅行業者による温泉旅館ホテルの人気投票）の中でも、自館のこだわりを強く打ち出し、高い評価を得ている旅館36軒を紹介する。（この特集は、月間約100万ページビューがある本社ホームページ（HP）「観光経済ドットコム」との連動企画です。HP上に「こだわりの宿特集」のコーナーを設けていますので、そちらもご覧ください）

本社主催「人気温泉旅館ホテル250選」に通算５回以上入選の施設に贈られる５つ星の認定証

約450人を集めて行われた今年の認定証授与式（１月23日、東京・浅草ビューホテル）

北海道・湯の川温泉

湯の川プリンスホテル渚亭

日本最多の客室露天

湯の川プリンスホテル渚亭（河内孝夫社長）は、温泉露天風呂付き客室が124室と、日本最多を誇る。さらに大浴場も充実。350余年の歴史を誇る名湯を思う存分味わえる。

温泉・浴場

露天風呂客室は海側に92室、街側（夜景側）に32室。100万ドルの夜景を望む街側はすべて岩風呂。津軽海峡を望む海側は岩風呂付きの74室に加え、ひのき風呂付き客室を18室用意している。さらに女性客からは差し水をしない、源泉100％の温泉を使っている。透明でしっとりとした感触で、「肌がすべすべになる」と、特に女性客から喜ばれている。

「ご夕食は、和食膳、ビュッフェ、鉄板焼きなどからお選びいただけます」。

大浴場は海に面し、男性用が1階、女性用が2海。ともに露天風呂、サウナを備え、6～12月は漁火、冬は雪景色を眺めながらの入浴を楽しめる。

同館の風呂は差し水をしない、源泉100％の温泉を使っている。透明でしっとりとした感触で、「肌がすべすべになる」と、特に女性客から喜ばれている。

「ご夕食は、和食膳、ビュッフェ、鉄板焼きなどからお選びいただけます」。

▽湯の川プリンスホテル渚亭は北海道函館市湯川町1―2―25。☎0138・57・3911。http：//nagisatei.info/

客室露天風呂（街側）

宮城県・南三陸温泉

南三陸ホテル観洋

180度の志津川湾を望む

リアス式海岸として有名な三陸海岸の南に建つ「南三陸ホテル観洋」（阿部泰浩社長）。すべてオーシャンビューの客室も売りだが、美しい眺望と、東北の沿岸では珍しい温泉を兼ね備えた浴場施設が一番の魅力だ。

温泉・浴場

大浴場、露天風呂、サウナ、それぞれで志津川湾の眺望が楽しめる。朝陽の上がり様は特に美しく、今の時期なら夜の漁り火も幻想的でよい。

露天風呂は男性用が1カ所に対して女性用が3カ所。客層の軸として女性を強く意識しているためだが、その女性用露天風呂のメーンが「天女の遊」。最も湾に突き出た場所に位置し、180度の海が視界を圧倒する。

大浴場にはリラクゼーションルームを併設。フットケアやアロマテラピーなど多様な癒しを供する。子連れの母親も安心のキッズルームもある。

▽南三陸ホテル観洋は宮城県本吉郡南三陸町黒崎99―17。☎0226・46・2442。http：//www.mkanyo.jp/

女性用露天風呂「天女の遊」

山形県・かみのやま温泉

月岡ホテル

特別フロア客室に源泉

山形県かみのやま温泉にある月岡ホテル（堺健一郎社長）は、特別フロア「仙渓園」の客室に源泉を引き、プライベートな入浴を楽しめる。「ゆったりとした時間を過ごせる」と宿泊客に好評だ。

客室・館内設備

源泉が楽しめるのは客室「桧の間」と「萩の間」。「桧の間」は、大正から昭和にかけて造られた趣ある同館の離れをそのまま北の丸棟4階に移築。風呂からはこの部屋に泊まる人のために作られたという坪庭が眺められる。

源泉の泉質は含石膏弱食塩泉。透明で臭いがなく肌に優しい温泉。美肌のほか、ぽかぽかと体の芯から温まるため疲労回復にも効果があるという。浴槽には桧を用いており贅沢な気分を味わえる。

料理は厳選された食材と山形牛など地のものにこだわった。女将自ら育てるという有機野菜も味わえる。

▽月岡ホテルは山形県上山市新湯1―33。☎023・672・1212。http：//www.tsukioka.co.jp/

特別フロア仙渓園の「桧の間」

福島県・高湯温泉

旅館玉子湯

茅ぶき屋根の外湯、今も

福島県・高湯温泉の旅館玉子湯（後藤省一社長）の創業は明治元年。古くから奥州3高湯の1つに数えられてきた名湯である。

温泉・浴場

茅ぶき屋根の外湯「玉子湯」は、創業当時からある宿のシンボルだ。源泉から多量に湧き出る湯は自然のまま、水も熱も全く加えていない。泉質は硫黄泉でリウマチや皮膚病などに効能があり、湯治客も多い。

庭園には3つの露天風呂と足湯が点在する。なかでも野天岩風呂「天渓の湯」は圧巻。高く積み重なった岩々を背に、木枠で囲った湯船には乳白色の湯がたっぷり。山の眺めもすばらしく、野趣を満喫できる。

食事はいろり処が新設され、予約の際、部屋食かいろり処か選ぶことができる。

▽旅館玉子湯は福島県福島市町庭坂字高湯7番地。☎024・591・1171。http：//www.tamagoyu.net/

秋の「玉子湯」